

春の選抜高校野球大会 組み合せ決まる



1月24日、選考委員会が開催され、四国ブロックでは昨秋の四国大会決勝に進んだ2校が順位通りに選出されたようです。高松商は末包旬希、行梅直哉の両右腕を中心投手陣が充実していること。打線も橋朋宏や唐渡大我らに長打力があり、守りも堅く、総合力は明徳義塾と遜色ないと評価され選出されたようです。

2月17日（月）、香川県庁に池田豊人知事を表敬訪問し、今大会での健闘を誓った。池田知事は「野球は人を感動させ、応援する人たちの気持ちを二つにする力がある。ぜひ甲子園で日々の力を十分に發揮してください」と激励し、バットなどを贈った。



2月25日（火）、2年ぶり29回目の出場をする高松商のセンバツ旗授与式が、高松市の同校グラウンドで行われました。山田圭介主将（2年）が森田真潮・毎日新聞高松支局長から山本主税校長を通じて旗を受け取った。山本校長は「甲子園に選ばれたチーム同士で切磋琢磨し、成長してくれることを期待します」と選手たちを激励。山田主将は「四国、香川県の代表として県民の皆様に勇気や感動を与えるよう頑張りたい」と甲子園での活躍を誓った。また長尾監督は「選手たちは練習で培った100%の力を出してほしい」と話したようです。

3月7日、午前9時より毎日新聞大阪本社オーパルホールで組合せ抽選会が行われ、高松商業は、大会5日目第1試合で対戦相手は早実に決まりました。

大会が進行通りならば22日（土）朝9時からの第一試合になります。県民のみなさま、高商ファンのみなさま、応援しましょう。

3月18日（火）開幕される第97回選抜高校野球大会は、2月27日、選考委員会により出場32校が選出され、3月7日（金）、組み合せが抽選会が行われました。

今回新たに特別選考委員に加わった、テニス女子日本代表監督の杉山愛さんは「高校野球の抱える問題は日本の問題でもある」と改めて感じた。スポーツ選手にとって、普段やってきたことが（本番で）出せないことが多い。悔いなく大舞台で力を出し切ってきてほしい」と話した。出場校は次の

初出場は6校、最多は高松商の29回

通り。
(昨秋地区大会優勝校は青字、赤字)

明治神宮大会優勝・準優勝校は年連続8回目

浦和実業 埼玉
(春夏通じて初出場)

健大高崎高校 群馬県 (3年連続8回目)

明治神宮大会優勝・準優勝校は年連続8回目

市立和歌山 和歌山県
(2年ぶり16回目)

千葉黎明 千葉県
(春夏通じて初出場)

山梨学院 山梨県
(4年連続8回目)

滋賀短大付属 滋賀県
(春夏通じて初出場)

早稻田実業 大付属 東京
(2年ぶり8回目)

二松学舎大付属 東京
(2年ぶり8回目)

堀島大高 岐阜県
(2年ぶり6回目)

常葉大菊川 静岡県
(2年ぶり6回目)

至学館 愛知県
(8年ぶり2回目)

中国地区 (2校)
広島商業 広島県
(3年ぶり23回目)

米子松蔭 鳥取県
(33年ぶり2回目)

四国地区 (2校)
明徳義塾 高知県
(4年ぶり21回目)

高松商業 香川県
(2年ぶり29回目)

北海道 (1校)
聖光学院 福島県
(10年ぶり7回目)

花巻東 岩手県
(3年ぶり5回目)

関東・東京 (7校)
(6年ぶり17回目)

横浜 神奈川県
(3年ぶり9回目)

智弁和歌山 和歌山県
(2年ぶり16回目)

市立和歌山 和歌山県
(3年ぶり9回目)

天理 奈良県
(3年ぶり27回目)

千葉黎明 千葉県
(春夏通じて初出場)

滋賀学院 滋賀県
(8年ぶり3回目)

滋賀短大付属 滋賀県
(春夏通じて初出場)

堀島大高 岐阜県
(2年ぶり22回目)

常葉大菊川 静岡県
(8年ぶり6回目)

至学館 愛知県
(2年ぶり2回目)

東海地区 (3校)
大垣日大高 岐阜県
(2年ぶり6回目)

横浜清陵 神奈川県
(3年ぶり23回目)

横浜清陵 神奈川県
(3年ぶり2回目)

東洋大姫路 兵庫県
(2年連続4回目)

近畿地区 (6校)
(2年連続4回目)

東洋大姫路 兵庫県
(2年連続4回目)

近畿地区 (6校)
(2年連続4回目)

東洋大姫路 兵庫県
(2年連続4回目)

近畿地区 (6校)
(2年連続4回目)